

# 地域福祉座談会結果概要

1. 地域福祉座談会について	2
2. 座談会の進行について	3
3. 地区別実施状況	4
4. 調査結果のまとめ	10
5. 参考資料	12

# 1 匝瑳市地域福祉座談会について

## 〔1〕座談会の実施目的

この座談会は、地域にかかわるすべての人が地域福祉の推進に向けて共通の目標をもち、協働して取り組んでいく上での指針となる「匝瑳市地域福祉計画・匝瑳市地域福祉活動計画」を策定するために実施するものです。

地域福祉は、地域全体で自分たちの住むまちを暮らしやすくするために、地域に関わるすべての人が協働することによって実現されます。

そのため、今回の「匝瑳市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定にあたっては、日頃、地域の福祉活動にご協力を頂いている皆様から、直接、地域福祉に関する様々なご意見や地域の状況をワークショップ形式でご提示頂き、本計画をより地域に根差した計画とするための試みとして、地域福祉座談会を開催しました。

## 〔2〕懇談会の実施方法

### （1）開催日程・会場

	開催日時	会場	内容
第1回	平成26年3月8日(土) 午前10:00～	のさか図書館(野栄総合支所)	グループワーク等
第2回	平成26年3月12日(水) 午前10:00～	匝瑳市民ふれあいセンター	グループワーク等
第3回	平成26年3月12日(水) 午後13:30～	匝瑳市民ふれあいセンター	グループワーク等

### （2）対象地区

第1回座談会・・・野田 栄地区

第2回座談会・・・豊和 共興 平和 椿海地区

第3回座談会・・・中央 豊栄 須賀 匝瑳 吉田 飯高地区

### （3）参加者

参加にあたっては、以下の方々にご出席いただきました。

- ・ 地区社会福祉協議会長
- ・ 民生委員児童委員
- ・ 区長
- ・ 保護司
- ・ 更生保護女性会
- ・ 地区シニアクラブ
- ・ 保健推進員
- ・ ボランティア団体代表者
- ・ 社会福祉施設代表者
- ・ その他、地域にて活動している方

## 2 匝瑳市地域福祉座談会の進行について

### ■ 地域福祉座談会スケジュール（各回共通、座談会配布資料より抜粋）

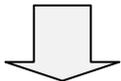
<p>あいさつ (5分)</p>	<p><b>地域福祉座談会のはじまりです！</b></p> <p>地域福祉座談会の開催にあたって挨拶を行いました。</p>
<p>オリエンテーション (20分)</p>	<p><b>会議の目的や座談会の方法について学びましょう！</b></p> <p>①地域福祉、地域福祉計画・地域福祉活動計画について簡単な説明を行いました。</p> <p>②資料に基づいて、座談会の目的や全体の流れなどの説明を行いました。</p> <p>③座談会の約束事や本日の内容について説明を行いました。</p>
<p>座談会 (75分)</p>	<p><b>地域のいいところやわるいところは？</b></p> <p>①自己紹介をして、各グループのリーダーを決めていただきました。</p> <p>②リーダーの進行で、作業を開始しました。</p> <p>③地域の課題をいくつか出し、それを地域で解決する取り組みを話し合います。</p>
<p>休憩 (5分)</p>	
<p>グループごとの発表 (10分)</p>	<p><b>グループごとに、途中経過を発表していただきます！</b></p> <p>今回話し合われた内容を簡単に発表していただきます。 (各グループ3分程度)</p>
<p>閉会 (5分)</p>	<p><b>お疲れさまでした！</b></p> <p>今回の内容を簡単に総括して、閉会です。</p>

### 3 地区別実施状況

#### ① 野田・栄

##### 〔1〕 検討及び発表内容（要旨）

地域のよいところ	地域の気になるところ
<p>〔交流〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄り同士の交流が密接。</li> <li>・大祭などの交流を通して、三世代交流が出来る。</li> <li>・「ふれあい公園」で親子の交流が出来る。</li> <li>・歩け歩け運動やカラオケ友の会などの活動が活発。</li> </ul> <p>〔住みやすい〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害が少なく気候にも恵まれている。</li> <li>・保全会というグループがあり、環境改善に力を入れている。</li> </ul> <p>〔その他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習に力を入れている。</li> <li>・小学生が元気にあいさつして登校する。</li> </ul>	<p>〔交流〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新住民との交流が少ない。</li> <li>・農業の後継者がいない。</li> <li>・近隣の付き合いが少なくなった。</li> </ul> <p>〔独身・独居〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独居老人家庭が増えた。</li> <li>・未婚の若者が多い。</li> <li>・少子化により家族が減っている。</li> </ul> <p>〔就労・世継ぎ〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職する場所がなく、高等教育を受けた後、都市部に転出してしまう。</li> <li>・家を継ぐ子どもが地域に残っていない。</li> </ul>

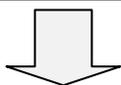


課題	主な意見のポイント
<p>課題1</p> <p>交流の場の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小集落で高齢者～若人で集いを開いて、情報交換をする。</li> <li>・チューリップまつり、ふれあいまつりを活用した交流。</li> <li>・イベントとリンクし、地域交流を促す。</li> </ul>

## ② 豊和・椿梅

### 〔1〕 検討及び発表内容（要旨）

地域のよいところ	地域の気になるところ
<p>〔地域交流〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演芸会や歩け歩け大会など、老若男女問わず参加している。健康面にも考慮されている。</li> <li>・小学生が挨拶をしている。</li> </ul> <p>〔地域活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シニアクラブ、子ども会の活動が活発。</li> <li>・社協職員や各種団体の役員が熱心。</li> <li>・見守りがされており、高齢者が安心して暮らせる。</li> </ul>	<p>〔子ども〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子どもの数が少なく、遊ぶ姿を見かけない。</li> <li>・地域の公園が少ない。</li> </ul> <p>〔高齢者〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が多いが、地域活動への参加は少ない。</li> <li>・シニアクラブの会員数が減っている。</li> </ul> <p>〔地域交流〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と地域の交流が少ない。</li> <li>・町内での結びつきが弱くなっている。</li> <li>・新住民との交流が少ない。</li> </ul> <p>〔地域活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティセンターの利用が低い。</li> </ul> <p>〔その他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉に対する要望が区長会へ届いていない。</li> <li>・後継者が少ない。</li> </ul>

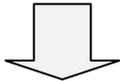


課題	主な意見のポイント
<p>課題1</p> <p>地域活動への参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な団体が連携してPRを行い、まずは体験をしてもらう。</li> <li>・シニアクラブを中心に、他の行事やイベントに参加していく。</li> <li>・参加したくても外出できない人の支援。</li> </ul>

### ③ 共興・平和

#### 〔1〕 検討及び発表内容（要旨）

地域のよいところ	地域の気になるところ
[地域交流] ・地域の交流の場がある。(演芸会、遊ぼう会) ・昔の遊びを通して、異世代の交流を図っている。  [地域活動] ・地域での定期集会有很多い。 ・月に数度、小学生の送迎をシニアクラブが行っている。 ・デイサービスによる幼稚園児との交流がある。	[地域] ・遊休地、空き家が増えた。 ・商店が減った。 ・交通の便が悪い。  [地域交流] ・地域の付き合いが減った。 ・若い世代が少ない。

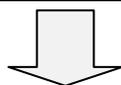


課題	主な意見のポイント
課題1 人材の育成	・地域ぐるみの育成。 ・小学校での福祉教育。
課題2 移動交通	・通院、買い物に乗合タクシーの運行。

## ④ 中央・匝瑳

### 〔1〕 検討及び発表内容（要旨）

地域のよいところ	地域の気になるところ
<p>〔豊かな自然〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイキングコースに季節の変化がある。</li> <li>・自然が多い。</li> </ul> <p>〔伝統行事の継承〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神楽などの伝統の継承に理解がある。</li> <li>・ボランティア主催による花火大会。</li> </ul> <p>〔安全安心〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災会ができ、災害弱者の見守りが始まった。</li> <li>・地区によっては、防犯パトロールを実施している。</li> <li>・自治の精神。</li> </ul> <p>〔頑張るシニア層〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シニアクラブの活動が盛ん。</li> </ul> <p>〔人のつながりが顕在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りをしてくれている人がいる。</li> <li>・顔見知りが多く、外でも挨拶をかわせる。</li> <li>・子どもの挨拶がある。</li> </ul>	<p>〔生活環境〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山間にあり、土地が活用できず、人が集まらない。</li> <li>・交通の便が悪く、自家用車が必要。</li> <li>・街灯が少なく、通学路も狭く、子どもに危険。</li> <li>・循環バスの運行が、生活実態と合っていない。</li> <li>・日用品の購入に不便を感じる。</li> </ul> <p>〔少子高齢化〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化が著しい。</li> <li>・日中、高齢者だけの世帯が多い。</li> <li>・移動手段がない高齢者の不安。増加傾向。</li> <li>・独居老人が増加し、相談などの対応が難しい。</li> </ul> <p>〔地域活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家が減って、かつての手伝い(交流)が減った。</li> <li>・町内の婦人会がなくなった。</li> <li>・旧住民と新住民の交流が難しい。</li> <li>・役員を避け、クラブが運営できない地区もある。</li> </ul>



課題	主な意見のポイント
<p>課題1</p> <p>地域の PR</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然やハイキングコースを PR。</li> <li>・祭りを通して、外から人を呼び込む。</li> </ul>
<p>課題2</p> <p>地域活動の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シニアクラブと子ども会が協働で行事を行う。</li> <li>・それぞれの活動は活発。</li> </ul>

## ⑤ 須賀・豊栄

### 〔1〕 検討及び発表内容（要旨）

地域のよいところ	地域の気になるところ
<p>〔学校関係〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の活動に住民が参加している。</li> <li>・生徒の挨拶が出来ている。</li> <li>・スクールガードのボランティアが、毎日見守ってくれている。</li> </ul> <p>〔地域交流〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内交流として、会話や各種行事交流は出来ている。</li> <li>・農村部は行事が多く、地域のつながり、縁がある。</li> </ul> <p>〔地域活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会がしっかりとしている。</li> <li>・行政任せではなく、清掃行事を行っている。</li> </ul> <p>〔その他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募金活動に協力的で、募金しやすい。</li> </ul>	<p>〔人と人との関係の希薄〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大人どうしの挨拶がない。</li> <li>・新興住宅の方では、つながりが希薄。</li> <li>・隣近所とのつながりが減ってきている。</li> </ul> <p>〔交通関係〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通が不便で、通勤圏から外れている。</li> <li>・老後の移動手段の確保に不安。</li> </ul> <p>〔地域交流〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が集う機会が少ない。</li> <li>・高齢者の男性の行事参加が少ない。</li> </ul> <p>〔防犯〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家が増えており、防犯上不安。</li> <li>・空き家を活用できないのか。</li> <li>・防犯灯が少なく、危険。</li> </ul> <p>〔その他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人の就労の場がない。</li> <li>・大型店が出店し、地元商店が衰退。</li> </ul>



課題	主な意見のポイント
<p>課題1</p> <p>学校関係の住民参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校を会場に低学年とゲームや、簡単なスポーツの指導者を高齢者をお願いする。</li> </ul>
<p>課題2</p> <p>地域福祉の推進者の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉に対する理解が足りない。</li> <li>・高齢者への配慮の出来る人材の育成。</li> <li>・新興住宅地と農村部では考え方が異なる。</li> </ul>
<p>課題3</p> <p>地域の見守り活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りを輪番で行う。</li> <li>・見守られる人の「声(意見)」を発信する。</li> </ul>

## ⑥ 吉田・飯高

### 〔1〕 検討及び発表内容（要旨）

地域のよいところ	地域の気になるところ
<p>〔ふれあい交流〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落ごとの年間行事が多く、人のつながりが良い。</li> <li>・常に懇親を図っている。</li> <li>・昔からの祭りなどを大事にしている。</li> <li>・コミュニティづくりに熱心に取り組んでいる。</li> </ul> <p>〔元気な子供たち〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達は活発である。</li> <li>・小学生の挨拶が良い。</li> <li>・みどりの少年団がある。</li> </ul> <p>〔活発なシニア活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シニアクラブへの加入者が多い。</li> <li>・一人暮らしが多くなっている。</li> </ul>	<p>〔子どもの減少〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校がないため、子ども達を見かけない。</li> <li>・少子化で子どものいない地域がある。</li> </ul> <p>〔過疎化〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家や、閉店する商店が増えている。</li> <li>・農地の荒廃が進んでいる。</li> </ul> <p>〔高齢化〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独居が増えている。</li> </ul> <p>〔交通〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くに公共交通がない。</li> <li>・交通の便が悪い。</li> </ul>



課題	主な意見のポイント
<p>課題1</p> <p>地域の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独居世帯等には近隣世帯、地域での見守り意識、サポートが必要。</li> <li>・地域でイベントを開催していく。</li> </ul>
<p>課題2</p> <p>移動手段の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド方式の導入を要望。</li> </ul>

## 4 調査結果のまとめ

各地区においては、お祭りや地域行事等、イベントの場をとおした世代間交流が行われて、なかでもシニアクラブの活動が活発に行われており、人材面や運営面での活動に不安を抱えながらも、福祉活動が推進され続けているという状況がわかりました。

また、特に以下の3点を中心に、共通する課題、また発展性が見込まれる意見が挙げられました。

### 1. 地域の活性化を促進する、既存の組織・団体の活用

地域の活性化については、各地区ともに不安要素となっており、特に組織活動での人材不足や、地域活動のリーダーともいえる福祉人材の枯渇を懸念しています。

しかし一方で、旧住民間の交流や縁は強く、高齢者であっても、地域活動に率先して取り組む意識の高さがあります。なかでも各地区ともにシニアクラブの活動が活発であり、地域の中心として活動されています。

また、各地区の意見として、現在の活動や事業を維持継続し、それを発展させることで地域の活性化につなげていきたいという意見が出されました。実際に、豊和・椿海地区の「歩け歩け大会」を楽しみにしている意見、中央・匝瑳地区のようにボランティアによる「花火大会」など、現在の取り組みを地域の活性化に取り入れていきたいという意見と、実例が挙げられています。

今後、このような活動意識の高い団体を活用し、地域の福祉活動を推進していく事は、団体間の連携を必須とする地域福祉計画の趣旨と合致する内容でもあることから、各組織・団体が持つ高い活動意識を具現化していくため、活動の支援や連携の促進等、活動環境を整備していく必要があります。

また、活動への呼びかけを図る上では、ライフスタイルの違いや子育て世代、現役の就労者の抱える負担が大きい事に配慮した活動に取り組んでいく必要もあります。

### 2. 福祉にとらわれない地域人材の育成と発掘

上述のとおり、地域を担う若い人材が不足しており、各地区で共通して、福祉活動のみならず、地域の運営を担える人材を育成していく必要性が指摘されました。

一方で、子どもたちとの交流は各学校や行事をとおして行われており、将来の地域を担う世代の地域への取り込みも行われています。しかし就労の場が少なく、高等教育の修了後、子ども達が市外へ出てしまうことが多いという、将来の地域を考えた上での具体的な課題もあります。

子ども達の取り込みや、若い世代、意欲のある住民といった地域人材の育成にあたっては、組織・団体間で取り合ったり、互いの役割によって活動し難くなるような事がないように、地域人材の視点で、地域が一体となって人材の育成を図る必要があります。

また、地域差を考慮すると、中心市街地であり、新住民が集まりやすい中央地区や、山間部が大部分を占める飯高地区、高齢化率が高い豊和地区など、地域によって人材を必要とする背景が異なる事象に配慮し、地域に応じた人材育成の在り方を、地域住民とともに検討していく必要があります。

### 3. 地域の見守りと支えあいの意識

地域交流において行われている世代間交流は、単に交流という点のみではなく、お互いがお互いの顔を知り、地域での連帯意識を感じさせる重要な機会でもあります。

本市では、豊栄地区や須賀地区のように地区内の集落が離れており、容易に地域間交流が図れない地区もあります。また、高齢者にとっては交通手段が限られることで、地域に出ることができず、地域での孤立を招く恐れもあります。

地区によっては、シニアクラブが地域交流や見守りを果たしている地区もありますが、今後は、活発な地域行事や意識の高い団体と連携・協力し、孤立しがちな要支援者等の地域での孤立を予防し、地域によるネットワークにおいて、第1のセーフティーネット機能を果たしていくことのできる体制の構築が求められます。

## 5 参考 (座談会配布資料より抜粋)

### V 本日のワークショップについて

地域の中で「よいところ・自慢できること」「わるいところ・きれいなところ」について自身が日頃から感じていること（隣近所の人と交流が少ないなど）などを話し合ってください、地域における課題等の共有を図ります。

そのうえで、「よいところ」を伸ばすために、「わるいところ」を改善するために、地域でどんな取り組みができるか考えていただきます。

#### ①意見をフセンに書きましょう！

- あなたの身近な地域でのいいところ・自慢できるところやわるいところ・きれいなところなどをフセンに書いてみましょう！

#### 【注意点！】

※必ず1枚のフセンに1つの意見のみ記入してください。

※なるべく具体的に記入してください。

#### ■地域の生活課題（例）

地域でボランティアをしたいとき、どこへ相談に行けばいいのかわからない！

#### ②書いた意見を発表しましょう！

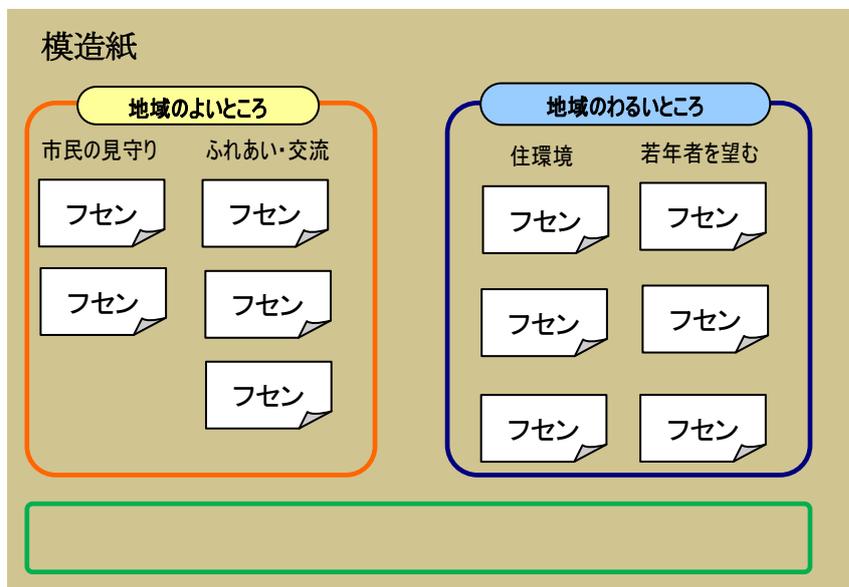
- フセンに意見を書いたら、発表しましょう。



【注意点！】※発表された意見を否定せず、周りの人はよく聞いてあげてください！

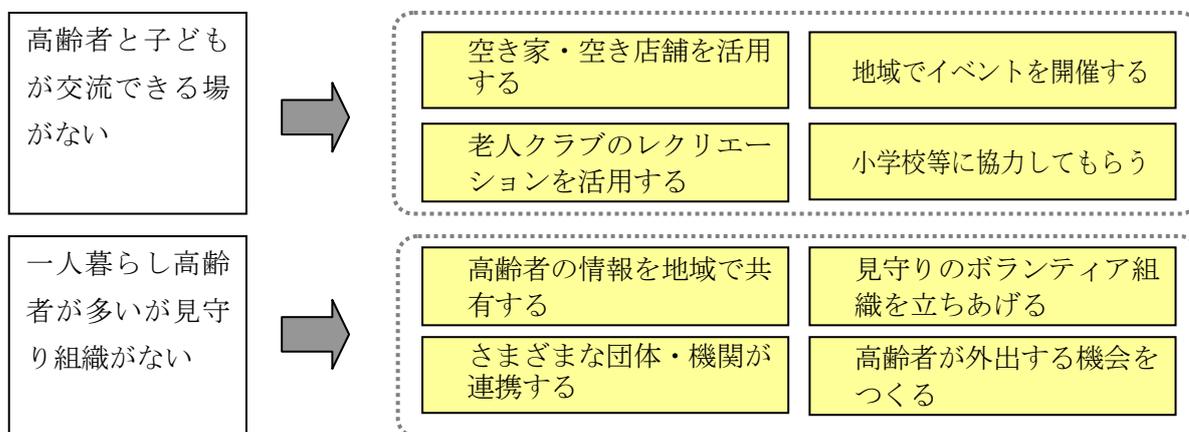
### ③フセンを模造紙に貼りましょう！

- それぞれ、書いたフセンを模造紙に貼っていきましょう。
- よいところ・わるいところやテーマごとなど、フセンを整理・分担してみましょう。  
※余裕があれば、分かりやすいようにさらに細かく分類してみましょう。



### ④課題を解決するための、共助による具体的な取り組みを検討しましょう。

課題：(例)高齢者の生活問題



## ⑤課題と取り組みを模造紙に貼りましょう！

- 検討した課題と取り組みをフセンに書いて模造紙に貼っていきましょう。  
※市の取り組みではなく、地域でできることを考えてください。

模造紙

地域のよいところ		地域のわるいところ	
市民の見守り	ふれあい・交流	住環境	若年者を望む
フセン	フセン	フセン	フセン
フセン	フセン	フセン	フセン
	フセン	フセン	フセン

課題	取り組み			
高齢者と子どもが交流できる場がない	フセン	フセン	フセン	フセン
一人暮らし高齢者が多いが見守り組織がない	フセン	フセン	フセン	フセン

自助：自分でできることは自分でしよう！  
共助：隣近所や友人、知人とお互いに助け合おう！  
地域活動に参加して地域で助け合おう！  
公助：行政でなければできないことは、行政がしっかりとします！

## ⑥検討した結果を発表しましょう！

最後に、地域の課題の解決策について発表会を行います。地域福祉計画および地域福祉活動計画の策定に、また、地域における福祉活動の実践に結び付けていきます。

～グループごとの発表により、さまざまな意見が出されていることに気づきます～